

参考文献

- NHK取材班 (1995年) 『太平洋戦争 日本の敗因〈4〉責任なき戦場 インパール』角川文庫
- G. アイゼン (1996年) 『ホロコस्तの子どもたち』立風書房
- 青木富貴子 (2005年) 『731』新潮社
- 青島多津子, 村上千鶴子, 小田晋, 田辺文夫 (1996年) 「加害者自身への犯罪ストレス」『犯罪学雑誌』第62巻, 86-87ページ
- 浅野弘毅 (2000年) 『精神医療論争史』批評社
- 麻原控訴審弁護士編 (2006年) 『獄中で見た麻原彰晃』インパクト出版会
- 朝日新聞山形支局 (1991年) 『ある憲兵の記録』朝日文庫
- 東史郎 (1987年) 『わが南京プラトーン——召集兵士の体験した南京大虐殺』青木書店
- 東史郎 (2001年) 「俯仰天地に愧じず」東史郎さんの南京裁判を支える会編『加害と赦し——南京大虐殺と東史郎裁判』(現代書館) 所収
- 荒川直人 (1997年) 「国立精神・神経センター国府台病院～教導団病室, 衛戍病院, 陸軍病院(戦争神経症センター), 国立病院を経て精神・神経センター病院へ」『日本病院会雑誌』第44巻, 151-158ページ
- 荒木憲一, 川崎ナヲミ, 太田保之 (1995年) 「災害精神保健システムと精神科医の役割」『臨床精神医学』第24巻, 1557-1565ページ
- H. アーレント (1969年) 『イェルサレムのアイヒマン』みすず書房
- 安克昌 (1996年) 『心の傷を癒すということ』作品社
- 安藤久美子他 (2007年) 「自らの加害行為によるPTSD類似症状——医療観察法の実子殺害例の検討から」『臨床精神医学』第36巻, 1181-1189ページ
- 池田晶子, 陸田真志 (1999年) 『死と生きる——獄中哲学対話』新潮社
- 池田由子 (1984年) 「被虐待児症候群」池田由子編『現代のエスプリ 被虐待児症候群』(至文堂) 所収
- 池田由子 (1987年) 『児童虐待』中公新書
- 池見西次郎 (1965/79年) 『愛なくば』日本心身医学協会
- 石井猪太郎 (1986年) 『外交官の一生』中公文庫
- 石塚千秋他 (1999年) 「診断が困難であった実子殺しの鑑定事例」『犯罪学雑誌』第65巻, 202-206ページ
- 市橋秀夫 (1994年) 「緊張病の2症例」木村敏編『精神分裂病 I ——精神病理』(中山書店) 所収
- 伊東社他 (1978年) 「原爆と人間」I S D A J N P C 編集出版委員会編『被爆の実相と被爆者の実情』(朝日イブニングニュース社) 所収
- 井上郁美 (2000年) 『永遠のメモリー』河出書房新社

加害者と被害者の“トラウマ”

- 井村恒郎 (1956年) 「戦争神経症の印象」『青年心理』第7巻1号, 87-90ページ
- 井村恒郎 (1965年) 「戦争下の異常心理——戦争神経症を中心として」井村恒郎他編『異常心理学講座第五巻 社会病理学』(みすず書房) 所収
- 入江曜子 (2001年) 『日本が「神の国」だった時代——国民学校の教科書を読む』岩波新書
- 岩井宜子 (2008年) 「アメリカにおける Insanity Defense の動向」『司法精神医学』第3巻, 88-92ページ
- E. S. ヴァレンスタイン (2008年) 『精神疾患は脳の病気か? 向精神薬の科学と虚構』みすず書房
- 上野創 (2002年) 『がんと向き合って』晶文社
- 内村祐之 (1948年) 『精神醫學教科書 上巻』南山堂書店
- 臺弘 (1978年) 「解説」臺弘編『分裂病の生活臨床』(創造出版) 所収
- 鶴野晋太郎 (1983年) 『菊と日本刀 上下』谷沢書房
- 浦河べてるの家 (2002年) 『べてるの家の「非」援助論』医学書院
- 江川紹子 (1997年) 『「オウム真理教」裁判傍聴記②』文藝春秋
- 江熊要一 (1974年) 「生活臨床概説」『精神医学』第16巻, 623-638ページ
- 愛媛県 (出版年不詳) 『こころのケア対応マニュアル』愛媛県
- 遠藤周作 (1986年) 『私が見つけた名治療家32人』祥伝社
- 太田保之 (2002年) 「原子爆弾被爆住民の長期経過後の精神的影響」『臨床精神医学』増刊号, 146-151ページ
- 大谷正 (2007年) 「日清戦争における日本軍の住民への加害」田中利幸編『戦争犯罪の構造——日本軍はなぜ民間人を殺したのか』(大月書店) 所収
- 大江志乃夫 (1981年) 『徴兵制』岩波新書
- 岡田靖雄 (1975年) 「はじめに」岡田靖雄他編『精神科症例集 上巻』(岩崎学術出版社) 所収
- 岡田靖雄, 小坂英世 (1970年) 『市民の精神衛生——社会のなかで精神病を治す』勁草書房
- 小川一夫, 宮真人 (1994年) 「長期経過——症例の転帰・予後」佐藤光源編『精神分裂病 II——おもに病因論・病態論の立場から』(中山書店) 所収
- 奥野修司 (2006年) 『心にナイフをしのばせて』文藝春秋
- 小倉豊文 (1948年) 『絶後の記録——広島原子爆弾の手記』中央社 (1982年, 中公文庫)
- 長田新編 (1965年) 『原爆の子』『昭和戦争文学全集 13 原子爆弾投下さる』(集英社) 所収
- 小沢牧子 (2002年) 『「心の専門家」はいらない』洋泉社新書
- J. オダネル, J. オルドリッチ (1995年) 『トランクの中の日本——米従軍カメラマンの非公式記録』小学館
- 御茶の水女子大学校蔭会兵庫県支部編 (1996年) 『災禍を超えて』編集工房ノア
- 加賀乙彦 (1990年) 『ある死刑囚との対話』弘文堂
- 加賀乙彦 (2006年) 『悪魔のささやき』集英社新書
- 笠原十九司 (1997年) 『南京事件』岩波新書
- 笠原十九司 (2002年) 『南京事件と日本人』柏書房
- 笠原十九司 (2006年) 「南京虐殺の記憶と歴史学」笠原十九司, 吉田裕編『現代歴史学と

- 南京事件』(柏書房)所収
- 笠原敏雄(1976年)「精神分裂病患者の防衛機制」『東大分院神経科研究会誌』第2号, 78-92ページ
- 笠原敏雄(1995年)『隠された心の力——唯物論という幻想』春秋社
- 笠原敏雄(1999年)「解説」笠原敏雄編『多重人格障害——その精神生理学的研究』(春秋社)所収
- 笠原敏雄編(2002年)『偽薬効果』春秋社
- 笠原敏雄(2004年a)『幸福否定の構造』春秋社
- 笠原敏雄(2004年b)『希求の詩人・中原中也』麗澤大学出版会
- 笠原敏雄(2005年)『なぜあの人は懲りないのか・困らないのか——日常生活の精神病理学』(旧題『懲りない・困らない症候群』[1997年])春秋社
- 笠原敏雄(2010年)『本心と抵抗——自発性の精神病理』すびか書房
- 笠原嘉(1967年)「内因性精神病の発病に直接前駆する『心的要因』について」『精神医学』第9巻6号, 17-26ページ
- 笠原嘉(1974年)「書評:精神分裂病読本」『精神医学』第16巻, 630-631ページ
- 笠原嘉(1998年)『精神病』岩波新書
- A. カーディナー(2004年)『戦争ストレスと神経症』みすず書房
- 加藤進昌, 飛鳥井望, 金吉晴, 神庭重信(2002年)「座談会 P T S Dとその周辺をめぐる」『臨床精神医学』増刊号, 7-21ページ
- 門田隆将(2008年)『なぜ君は絶望と闘えたのか——本村洋の3300日』新潮社
- 河合隼雄(1993年)「藤岡喜愛さんを偲んで」藤岡喜愛著『イメージの旅』(日本評論社)所収
- 川上武編著(2002年)『戦後日本病人史』農村漁村文化協会
- 川平那木(2005年)『性虐待の父に育てられた少女——蘇生への道』解放出版社
- 北川昶(1965年)「心の遍歴七日間」吉本伊信著『内観四十年』(春秋社)所収
- 菊田幸一(1994年)『いま,なぜ死刑廃止か』丸善ライブラリー
- 木佐芳男(2001年)『戦争責任』とは何か——清算されなかったドイツの過去』中公新書
- 岸田秀(1982年)「わたしの原点」『ものぐさ精神分析』(中公文庫)所収
- 清沢冽(山本義彦編)(1960年)『暗黒日記——1942-1945』岩波文庫
- 栗本藤基(1980年)「分裂病者の母親に内観を施行しての一考察」『第三回日本内観学会発表論文集』(日本内観学会事務局)所収
- J. グレゴリー(2005年)『Sickened——母に病気にされ続けたジュリー』竹書房文庫
- D. グロスマン(2004年)『戦争における「人殺し」の心理学』ちくま学芸文庫
- A. ケストラー(1969年)『機械の中の幽霊——現代の狂気と人類の危機』べりかん社
- 小池滋(1991年)『もうひとつのイギリス史』中公新書
- 瀧厚(1999年)『侵略戦争——歴史事実と歴史認識』ちくま新書
- 小木貞孝(1965年)「拘禁状況の精神病理——とくに異常体験反応を中心として」井村恒郎他編『異常心理学講座第5巻 社会病理学』(みすず書房)所収
- 小木貞孝(1974年)『死刑囚と無期囚の心理』金剛出版

加害者と被害者の“トラウマ”

- 小坂英世 (1960年) 「精神分裂病患者の家族関係の研究」『医療』第14巻, 259-272, 354-360 ページ
- 小坂英世 (1963年) 「栃木県における精神病者の管理」『精神医学』第5巻, 569-573 ページ
- 小坂英世 (1966年 a) 『精神衛生活動の手引き』日本看護協会出版部
- 小坂英世 (1966年 b) 「精神病院の機能と限界」『精神医学』第8巻, 583-584 ページ
- 小坂英世 (1966年 c) 「精神衛生と行動科学——生態学派の立場から」『公衆衛生』第30巻, 504-507 ページ
- 小坂英世 (1966年 d) 「地域精神医学における問題点」『精神医学』第8巻, 816-819 ページ
- 小坂英世 (1968年) 「保健婦と患者家族を友として」『公衆衛生』第32巻, 103-106 ページ
- 小坂英世 (1970年 a) 「特集 60年代から70年代へ 精神衛生」『公衆衛生』第34巻, 416-421 ページ
- 小坂英世 (1970年 b) 『精神分裂病患者の社会生活指導』医学書院
- 小坂英世 (1971年 a) 「リハビリテーションの技術論」江副勉監修『精神科リハビリテーション』(医歯薬出版) 所収
- 小坂英世 (1971年 b) 「ある家族の手紙」『精神医療』第2巻1号, 95-101 ページ
- 小坂英世 (1972年 a) 『患者と家族のための精神分裂病理論』珠真書房
- 小坂英世 (1972年 b) 『精神分裂病読本』日本看護協会出版部
- 小坂英世 (1973年 a) 「再発の研究」小坂教室テキストシリーズ, No.5
- 小坂英世 (1973年 b) 「抵抗とイヤラシイ再発の研究」小坂教室テキストシリーズ, No.6
- 小坂英世 (1974年) 「過去の分析(その1)」小坂教室テキストシリーズ, No.9
- 小坂英世 (1976年) 「私の病因論と治療法」小坂教室テキストシリーズ, No.11
- 小坂英世 (1977年) 「小坂から患者諸君に」小坂教室発行 1977年10月20日付リーフレット
- 小坂英世 (1987年) 「駆水剤による精神病治療」『日本東洋医学雑誌』第37巻, 345 ページ
- 小坂洋右 (2005年) 『破壊者のトラウマ——原爆科学者とパイロットの数奇な運命』未来社
- 小俣行男 (1982年) 『侵掠——中国戦線従軍記者の証言』徳間書店
- 小山順 (2004年) 『犯人よ、話してくれてありがとう——長野生坂ダム事件の真相を追った母の23年』朝日新聞社
- H. コリンズ, T. ピンチ (1997年) 『七つの科学事件ファイル』化学同人
- 齋藤学 (1999年) 『封印された叫び——心的外傷と記憶』講談社
- 齋藤道雄 (1995年) 『原爆神話の五〇年』中公新書
- 齋藤道雄 (2002年) 『悩む力』みすず書房
- 佐木隆三 (2005年) 『なぜ家族は殺し合ったのか』青春新書
- 佐高信, 魚住昭 (2008年) 『だまされることの責任』角川文庫
- 佐藤哲哉 (2001年) 「心因と心因性精神障害——その歴史の変遷」『こころの科学』第95号, 10-15 ページ
- 佐瀬稔 (1990年) 『うちの子がなぜ! ——女子高生コンクリート詰め殺人事件』草思社
- 佐野三治 (1992年) 『たった一人の生還——「たか号漂流二十七日間の闘い」』新潮社
- C. F. シェイタン (1984年) 「ベトナム復員兵のストレス病——持続する感情障害」D.

参考文献

- R. フィグラー編『ベトナム戦争神経症』（岩崎学術出版社）所収
島村三郎（1975年）『中国から帰った戦犯』日中出版
清水寛編著（2006年）『日本帝国陸軍と精神障害兵士』不二出版
J. ジーメス（1970年）「原爆！」『聖心の使徒』7・8月合併号, 318-327ページ; 9月号, 381-387ページ
下坂幸三（1998年）「心的外傷論の拡大化に反対する」『精神療法』第24巻, 332-339ページ
G. シュヴィング（1966年）『精神病者の魂への道』みすず書房
周藤由美子（2004年）「『偽りの記憶』論争から何を学ばばいいのか——『危ない精神分析』を批判する」『フェミニストカウンセリング研究』第3巻, 58-68ページ
新福尚武（1979年）「成因 総論」高橋良他編『現代精神医学大系 躁うつ病Ⅰ』（中山書店）所収
スアド（2004年）『生きながら火に焼かれて』ソニーマガジンス
杉原美津子（1983年）『生きてみたい, もう一度』文藝春秋
鈴木浩二（1978年）「家族精神療法」懸田克躬他編『現代精神医学大系 精神科治療学Ⅰ』（中山書店）所収
諏訪敬三郎（1948年）「今次戦争に於ける精神疾患の概況」『医療——国立医療學會誌』第1巻4号, 17-20ページ
H. ゼア（2003年）『修復的司法とは何か——応報から関係修復へ』新泉社
M. B. セイボム（2005年）『新版「あの世」からの帰還』日本教文社
M. B. セイボム（2006年）『続「あの世」からの帰還』日本教文社
関谷皓元（1993年）『虚業教団——〈幸福の科学〉で学んだものは何だったのか』現代書林
M. A. センシュエー（1971年）『分裂病の少女の手記』みすず書房
H. セリエ（1963年）『現代生活とストレス』法政大学出版局
副田義也（1996年）「震災遺児家庭の実態」あしなが育英会編『黒い虹——阪神大震災遭
児たちの一年』（廣済堂出版）所収
曾根一夫（1988年）『南京虐殺と戦争』泰流社
田口憲一（1968年）『ヒロシマ・パイロット——クロード・イーザリーの悲劇』講談社
田口寿子（2005年）「産後うつ病により子殺しを行った女性患者の治療をめぐる」『心
と社会』第120号, 66-72ページ
田辺功（2008年）『心の病は脳の傷』西村書店
S. ダルデンヌ（2005年）『すべて忘れてしまえるように——少女監禁レイブ殺人犯と暮
らした80日間』ソニーマガジンス
J. ダワー（2001年）『容赦なき戦争——太平洋戦争における人種差別』平凡社
R. ダンブロジオ（2000年）『ローラ, 叫んでごらん——フライパンで焼かれた少女の物語』
講談社プラスα文庫
中国帰還者連絡会（1984年）『完全版三光』晩聲社
中国帰還者連絡会訳編（1995年）『覚醒——撫順戦犯管理所の六年』新風書房
鶴間和幸, 吉村作治, 松本健他（2000年）「座談会——四大文明をめぐる [4] 埋葬」鶴

加害者と被害者の“トラウマ”

- 間和幸他編著『NHKスペシャル 四大文明 中国』（NHK出版）所収
- G. デイディ・ユベルマン（1990年）『アウラ・ヒステリカ——パリ精神病院の写真図像集』リプロポート
- 戸谷由麻（2006年）「東京裁判における戦争犯罪訴追と判決」笠原十九司・吉田裕編『現代歴史学と南京事件』（柏書房）所収
- 豊田正義（2005年）『消された一家——北九州・連続監禁殺人事件』新潮社
- 富永正三（1996年）『あるB・C級戦犯の戦後史——ほんとうの戦争責任とは何か』水曜社
- 永井隆（1949年）『長崎の鐘』日比谷出版社（2009年、勉誠出版版）
- 中沢正夫（1975年a）「[症例18] 分裂病（女・1943年5月うまれ）」岡田靖雄他編『精神科症例集 上巻』（岩崎学術出版社）所収
- 中沢正夫（1975年b）「江熊要一、その『ひと』と『しごと』」岡田靖雄他編『精神科症例集 上巻』（岩崎学術出版社）所収
- 中沢正夫（1998年）『ストレス「善玉」論』角川文庫
- 中澤正夫（2007年）『ヒバクシャの心の傷を追って』岩波書店
- 永田貴子，平林直次，津久江亮太郎，岡田幸之（2007年）「加害行為後，PTSD類似の症状が出現した統合失調症の1例」『司法精神医学』第2巻1号，2-7ページ
- 中原思郎（1970年）『兄中原中也と祖先たち』審美社
- 長嶺敬彦（2006年）『抗精神病薬の「身体副作用」がわかる』医学書院
- 中村哲（2007年）『医者，用水路を拓く——アフガンの大地から世界の虚構に挑む』石風社
- 西村忠郎他（1971年）「隠されつづけた南京大虐殺の記録」『潮』7月号，112-156ページ
- 西澤哲（1994年）『子どもの虐待——子どもと家族への治療的アプローチ』誠信書房
- E. P. ニース他（1984年）「ベトナム復員兵薬物乱用者の退役2年後の適応状況」D. R. フィグレー編『ベトナム戦争神経症』（岩崎学術出版社）所収
- J. S. ニューマン（1993年）『アウシュヴィッツの地獄に生きて』朝日新聞社
- A. ネルソン（2003年）『ネルソンさん，あなたは人を殺しましたか？——ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」』講談社
- A. ネルソン（2006年）『戦場で心が壊れて——元海兵隊員の証言』新日本出版社
- 野田正彰（1998年）『戦争と罪責』岩波書店
- 野田正彰（2002年）『犯罪と精神医療——クライシス・コールに応えたか』岩波書店
- M. ハーウィット（1997年）『拒絶された原爆展』みすず書房
- J. ハーシー（1949年）『ヒロシマ』法政大学出版局（2003年，増補版，法政大学出版局）
- 長谷川毅（2006年）『暗闘——スターリン，トルーマンと日本降伏』中央公論新社
- 蜂矢英彦（1993年）『心の病と社会復帰』岩波新書
- 蜂谷道彦（1955年）『ヒロシマ日記』朝日新聞社
- I. ハッキング（1998年）『記憶を書きかえる——多重人格と心のメカニズム』早川書房
- S. ハッサン（1993年）『マインド・コントロールの恐怖』恒友出版
- T. X. バーバー（2008年）『もの思う鳥たち——鳥類の知られざる人間性』日本教文社
- 浜田晋（1975年）「[症例19] 分裂病（女・1935年11月うまれ）」岡田靖雄他編『精神

- 科症例集 上巻』(岩崎学術出版社)所収
- 浜田晋(1986年)「小坂療法と私——小坂流家族療法の再検討」大原健士郎,石川元編『家族療法の理論と実際 1』(星和書店)所収
- 浜田晋(2001年)『私の精神分裂病論』医学書院
- 浜田晋(2005年)「小坂理論の後始末」『精神医療』第39号,98-102ページ
- 浜田晋(2010年a)「日本社会精神医学外史[その7]「生活臨床」(江熊要——一派)の功罪」『精神医療』第58号,103-115ページ
- 浜田晋(2010年b)「日本社会精神医学外史[その8]——小坂英世という男」『精神医療』第59号,153-162ページ
- 浜田晋,川上武(2001年)「対談 臨床日記からみる戦後病人史——『私の精神分裂病論』が提起したもの」『週刊医学界新聞』第2443号
- J. L. ハーマン(1996年)『心的外傷と回復』みすず書房
- 林郁夫(1998年)『オウムと私』文藝春秋
- 林峻一郎(1993年)『「ストレス」の肖像——環境と生命の対話』中公新書
- 林直樹(2010年)『「小坂理論」に見る精神療法の『理論』』『精神療法』第36巻,776-778ページ
- D. バルオン(1993年)『沈黙という名の遺産——第三帝国の子どもたちと戦後責任』時事通信社
- L. ピッカー(1966年)『わが心の旅路』東都書房
- 日野啓三,今西錦司(1983年)「対談 今西錦司——成るがままの世界」『創造する心——日野啓三対談集』(読売新聞社)所収
- 広島市長崎市原爆災害誌編集委員会(1979年)『広島・長崎の原爆災害』岩波書店
- 広田伊蘇夫(1971年)「もちあじ論への疑問——園田よし氏(あけぼの会)との関連から」『精神医療』第2巻3号,87-90ページ
- 福原泰平(2003年)「PTSDの視点からの加害者の特徴と処遇 成人」『矯正医学』第52巻,152-157ページ
- 福原泰平,宮嶋芳弘(2000年)「夢の侵入によって眠れないと訴える殺人事件加害者とPTSD」『矯正医学』第48巻,108-109ページ
- 福原泰平,宮嶋芳弘(2002年)「殺人事件加害者におけるPTSDの研究」『矯正医学』第50巻,94ページ
- 藤沢敏雄(1971年)「過渡期の悲劇——小坂英世氏に関するおぼえ書き」『精神医療』第2巻2号,118-122ページ
- 藤縄昭,加藤清(1968年)「心理療法(六)とくに精神分裂病の心理療法をめぐって」井村恒郎他編『異常心理学講座 第三巻』(みすず書房)所収
- 藤原彰(1985年)『南京大虐殺』岩波ブックレット
- 藤原彰(2001年)『餓死した英霊たち』青木書店
- T. プラス(2008年)『服従実験とは何だったのか——スタンレー・ミルグラムの生涯と遺産』誠信書房

加害者と被害者の“トラウマ”

- V. E. フランクル (1993 年) 『それでも人生にイエスと言おう』春秋社
- V. E. フランクル (2002 年) 『夜と霧 新版』みすず書房
- 古田元夫 (1988 年) 「証言 黒人兵とベトナム戦争」ベトナム戦争の記録編集委員会編『ベトナム戦争の記録』(大月書店) 所収
- 古屋龍太 (2008 年) 「日本病院・地域精神医学会の 50 年とわが国の精神保健福祉をめぐる流れ」『日本病院・地域精神医学』第 51 巻 3 号, 254-286 ページ
- I. プルマ (1994 年) 『戦争の記憶——日本人とドイツ人』ティビーエス・ブリタニカ
- S. フロイト (1970 年) 『日常生活の精神病理学』人文書院
- S. A. ヘイリー (1984 年) 「戦闘後ストレス反応の治療の意味——精神衛生の専門家のために」D. R. フィグラー編『ベトナム戦争神経症』(岩崎学術出版社) 所収
- H. ベルクソン (1965 年) 「『生きている人のまぼろし』と『心霊研究』」『ベルクソン全集 5 精神のエネルギー』(白水社) 所収
- H. ベルクソン (1979 年) 『道徳と宗教の二つの源泉』澤瀉久敬編『ベルクソン』(中央公論社) 所収
- D. ペルザー (2003 年 a) 『“It” と呼ばれた子 完結編』ソニーマガジンズ
- D. ペルザー (2003 年 b) 『“It” と呼ばれた子 指南編』ソニーマガジンズ
- 星徹 (2002 年) 『私たちが中国でしたこと』緑風出版
- 細淵富夫, 清水寛, 飯塚希世 (2000 年) 「日本帝国陸軍と精神障害兵士 [II] ——国府台陸軍病院『病床日誌 (昭和 20 年度) の戦争神経症患者の症例』」『埼玉大学紀要 教育学部 (教育科学)』第 49 巻 2 号, 51-62 ページ
- 細淵富夫, 清水寛, 飯塚希世 (2002 年) 「日本帝国陸軍と精神障害兵士 [VIII] ——国府台陸軍病院『病床日誌 (一九三八 (昭和 13 年度) ~一九四五年 (20 年度)』にみる戦争神経症患者の生活史的検討」『精神医学』第 44 巻, 877-883 ページ
- 洞富雄 (1967 年) 『近代戦史の謎』人物往来社
- 洞富雄編 (1973 年) 『日中戦争資料 9 南京事件 II』河出書房新社
- 洞富雄, 本多勝一, 藤原彰編 (1987 年) 『南京事件を考える』大月書店
- M. J. ホロヴィッツ, G. F. ソロモン (1984 年) 「ベトナム復員兵の遅発性ストレス反応症状群」D. R. フィグラー編『ベトナム戦争神経症』(岩崎学術出版社) 所収
- 本多勝一 (1981 年 a) 『戦場の村』朝日文庫
- 本多勝一 (1981 年 b) 『中国の旅』朝日文庫
- 本多勝一 (1981 年 c) 『アメリカ合州国』朝日文庫
- 本多勝一 (1982 年) 『殺される側の論理』朝日文庫
- 本多勝一 (1987 年) 『南京への道』朝日新聞社
- 本多勝一編 (1989 年) 『裁かれた南京大虐殺』晩聲社
- 本多勝一, 長沼節夫 (1991 年) 『天皇の軍隊』朝日文庫
- 松岡環 (2002 年) 『南京戦——閉ざされた記憶を尋ねて 元兵士 120 人の証言』社会評論社
- 松田宏也 (1983 年) 『ミニヤコンカ奇跡の生還』山と溪谷社
- 松田美智子 (2009 年) 『新潟少女監禁事件——密室の 3364 日』朝日文庫

参考文献

- 松本重治 (1975 年) 『上海時代——ジャーナリストの回想 下』中公新書
松本重治 (聞き手・國広正雄) (1986 年) 『昭和史への一証言』毎日新聞社
松本雅彦 (2000 年) 「精神分裂病の心因論をめぐって」『精神医学レビュー』第 33 巻,
42-51 ページ
- 真鍋弘樹 (2008 年) 「死刑制度と向き合う」『朝日新聞』10 月 26 日付朝刊
三浦宗克 (2009 年) 「抗精神病薬の神話と真実」『精神看護』第 12 巻 4 号, 96-104 ページ
三笠宮崇仁 (1994 年) 「闇に葬られた皇室の軍部批判」『This is 読売』8 月号, 40-59 ページ
宮城音弥 (1977 年) 『人間の心を探究する』岩波新書
宮地尚子 (2005 年) 『トラウマの医療人類学』みすず書房
S. ミルグラム (1975 年) 『服従の心理』河出書房新社
向谷地生良 (2006 年) 『「べてるの家」から吹く風』いのちのこぼ社
R. メスナー (1983 年) 『死の地帯』山と溪谷社
守田嘉男 (2008 年) 「疾患ごとに見たライフステージ〈統合失調症〉高齢者統合失調症
における加齢の影響」『精神科臨床サービス』第 8 巻, 179-183 ページ
森村誠一 (1983 年) 『悪魔の飽食 正統』角川文庫
森山康平 (1975 年) 『証言記録三光作戦——南京虐殺から満州国崩壊まで』新人物往来社
安永浩 (1977 年) 「分裂病患者にとっての『主体他者』」安永浩編『分裂病の精神病理 6』(東
京大学出版会) 所収
柳沢玄一郎 (2003 年) 『軍医戦記——生と死のニューギニア戦』光人社NF文庫
矢幡洋 (2003 年) 『危ない精神分析——マインドハッカーたちの詐術』亜紀書房
山内小夜子 (2001 年) 「歴史を尊重する人は歴史から尊重される」東史郎さんの南京裁判
を支える会編『加害と赦し——南京大虐殺と東史郎裁判』(現代書館) 所収
山崎浩子 (1994 年) 『愛が偽りに終わるとき』文藝春秋
山下京子 (1998 年) 『彩花へ「生きる力」をありがとう』河出書房新社
山手茂 (1978 年) 「被爆者の精神的苦悩」I S D A J N P C 編集出版委員会編『被爆の
実相と被爆者の実情』(朝日イブニングニュース社) 所収
山中康裕, 山田宗良 (1993 年) 『分裂病者と生きる』金剛出版
山野井泰史 (2004 年) 『垂直の記憶——岩と雪の 7 章』山と溪谷社
山室あかね (1988 年) 『彩流——精神分裂病の夫と三十年』同時代社
山本茂美 (1972 年) 『新版 あゝ野麦峠』朝日新聞社
A. ヤング (2001 年) 『P T S D の医療人類学』みすず書房
A. ヤング (2008 年) 「P T S D と『記憶の歴史』——アラン・ヤング教授を迎えて」『生
存学研究センター報告 1』立命館大学生存学研究センター
湯浅修一 (1989 年) 「精神療法 3 分裂病者の精神療法——生活臨床の立場から」土居
健郎他編『異常心理学講座 第 9 巻 治療学』(みすず書房) 所収
S. L. ユードル (1995 年) 『八月の神話——原子力と冷戦がアメリカにもたらした悲劇』
時事通信社
横川和夫 (2003 年) 『降りていく生き方』太郎次郎社

加害者と被害者の“トラウマ”

- 吉開那津子 (1981年) 『消せない記憶——湯浅軍医生体解剖の記録』 日中出版
- 吉田守男 (1991年) 「原爆投下目標としての京都」核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会編 『医師たちのヒロシマ——原爆災害調査の記録』 (機関紙共同出版) 所収
- 吉田裕 (1985年) 『天皇の軍隊と南京事件——もうひとつの日中戦争史』 青木書店
- 吉田裕 (1995年) 『日本人の戦争観——戦後史のなかの変容』 岩波書店
- 吉田裕 (1997年) 『現代歴史学と戦争責任』 岩波書店
- 吉田裕 (2002年) 『日本の軍隊』 岩波新書
- 吉本伊信 (1965年) 『内観四十年』 春秋社
- 四宮鉄男 (2002年) 『とても普通の人たち』 北海道新聞社
- L. ライト (1999年) 『悪魔を思い出す娘たち——よみがえる性的虐待の「記憶」』 柏書房
- R. J. リフトン (1971年) 『死の内の生命——ヒロシマの生存者』 朝日新聞社
- R. J. リフトン (1984年) 「治療者の倫理的あり方」 D. R. フィグラー編 『ベトナム戦争神経症』 (岩崎学術出版社) 所収
- R. J. リフトン (2000年) 『終末と救済の幻想——オウム真理教とは何か』 岩波書店
- R. J. リフトン, 野田正彰 (1995年) 「対談 惨害と人間——原爆・戦争・震災」 『世界』 9月号, 77-87 ページ
- R. J. リフトン, G. ミッチェル (1995年) 『アメリカの中のヒロシマ 上下』 岩波書店
- A. ルリア (1983年) 『偉大な記憶力の物語——ある記憶術者の精神生活』 文一総合出版
- J. レフ, C. ヴォーン (1991年) 『分裂病と家族の感情表出』 金剛出版
- Andreasen, N.C. (2007). DSM and the death of phenomenology in America: An example of unintended consequences. *Schizophrenia Bulletin*, 33, 108-112.
- Andrews, B., Brewin, C.R., Philpott, R., and Stewart, L. (2007). Delayed-onset posttraumatic stress disorder: A systematic review of the evidence. *American Journal of Psychiatry*, 164, 1319-26.
- Baggaley, M. (1998). 'Military Munchausen's': Assessment of factitious claims of military service in psychiatric patients. *Psychiatric Bulletin*, 22, 153-54.
- Barber, T.X. (1969). *Hypnosis: A Scientific Approach*. New York: Van Nostrand Reinhold.
- Beecher, H.K. (1949). *Resuscitation and Anesthesia for Wounded Men: The Management of Traumatic Shock*. Chicago, IL: Charles C. Thomas.
- Ballerini, A., et al. (2007). An observational study in psychiatric acute patients admitted to General Hospital Psychiatric Wards in Italy. *Annals of General Psychiatry*, 6 (2). open access.
- Bendall, S., Jackson, H.J., Hulbert, C.A., and McGorry, P.D. (2008). Childhood trauma and psychotic disorders: A systematic, critical review of the evidence. *Schizophrenia Bulletin*, 34, 568-79.
- Beratis, S., Gourzis, P., and Gabriel, J. (1994). Anniversary reaction as seasonal mood disorder. *Psychopathology*, 27, 14-18.
- Blass, T. (1998). The roots of Stanley Milgram's obedience experiments and their relevance to the holocaust. *Analyse & Kritik*, 20, 46-53.
- Blass, T. (2004). *The Man Who Shocked the World: The Life and Legacy of Stanley Milgram*. New York: Basic Books.
- Bloom, S.L. (2000). Our hearts and our hopes are turned to peace. In A.Y. Shalev, R. Yuhuda &

- A.C. McFarlane (eds.), *International Handbook of Human Response to Trauma* (pp. 27–50). New York: Kluwer Academic/Plenum Publishers.
- Bockoven, J.S., and Solomon, H.C. (1975). Comparison of two five-year follow-up studies: 1947 to 1952 and 1967 to 1972. *American Journal of Psychiatry*, 132, 796–801.
- Breslau, N., and Davis, G.C. (1987). Posttraumatic stress disorder: The etiologic specificity of wartime stressors. *American Journal of Psychiatry*, 144, 578–83.
- Brill, N.Q., and Beebe, G.W. (1955). *A Follow-Up Study of War Neuroses*. V.A. Medical Monograph. Veterans Administration.
- Brown, M.W. (ed. by F.E. Williams). (1918). *Neuropsychiatry and the War: A Bibliography with Abstracts*. New York: War Work Committee, National Committee for Mental Hygiene.
- Bryk, M., and Siegel, P.T. (1997). My mother caused my illness: The story of a survivor of Münchausen by proxy syndrome. *Pediatrics*, 100, 1–7.
- Byrne, M.K. (2003). Trauma reactions in the offender. *International Journal of Forensic Psychology*, 1, pp. 59–70
- Carpenter, W.T., McGlashan, T.H., and Strauss, J.S. (1977). The treatment of acute schizophrenia without drugs: An investigation of some current assumptions. *American Journal of Psychiatry*, 134, 14–20.
- Collins, J.J. and Bailey, S. (1990). Traumatic stress disorder and violent behaviour. *Journal of Traumatic Stress*, 3, 203–20.
- Cotton, H.A., and Ebaugh, F.G. (1946). Japanese neuropsychiatry. *American Journal of Psychiatry*, 103, 342–48.
- Daniel, D.L. (2008). *Post-traumatic Stress Disorder and the Casual Link to Crime. A Looming National Tragedy: A Monograph*. Fort Leavenworth, Kansas: School of Advanced Military Studies, United States A 1 Staff College.
- Darwin, C. (1871). *The Descent of Man, and Selection in Relation to Sex*. 2 vols. London: John Murray.
- Davis, K.L., Kahn, R.S., Ko, G., and Davidson, M. (1991). Dopamine in schizophrenia: Review and reconceptualization. *American Journal of Psychiatry*, 148, 1474–86.
- Double, D. (2002). The limits of psychiatry. *British Medical Journal*, 324, 900–4.
- Dutton, D.G. (1995). Trauma symptoms and PTSD-like profiles in perpetrators of intimate abuse. *Journal of Traumatic Stress*, 8, 299–316.
- Evans C. (2006). What violent offenders remember of their crime: Empirical explorations. *Australian and New Zealand Journal of Psychiatry*, 40, 508–18.
- Evans, C., Ehlers, A., Mezey, G., and Clark, D.M. (2007a). Intrusive memories and ruminations related to violent crime among young offenders: Phenomenological characteristics. *Journal of Traumatic Stress*, 20, 183–96.
- Evans, C., Ehlers, A., Mezey, G., and Clark, D.M. (2007b). Intrusive memories in perpetrators of violent crime: Emotions and cognitions. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, 75, 134–44.
- Farmer, R., Tranah, T., O'Donnell, I., and Catalan, J. (1992). Railway suicide: The psychological effects on drivers. *Psychological Medicine*, 22, 407–14.
- Fraser, K.A. (1988). Bereavement in those who have killed. *Medicine, Science and the Law*, 28, 127–30.

加害者と被害者の“トラウマ”

- Freeze, D. (2003). Paul Tibbets: A rendezvous with history (part 1). Retrieved April 19, 2009, from Airport Journals Web site: <http://www.airportjournals.com/Display.cfm?varID=0304003>.
- Freyd, J.J. (1994). Betrayal trauma: Traumatic amnesia as an adaptive response to childhood abuse. *Ethics & Behavior*, 4, 307–29.
- Frey-Wouters, E., and Laufer, R.S. (1986). *Legacy of a War: The American Soldier in Vietnam*. Armonk, NY: M.E. Sharpe.
- Friel, A., White, T., and Hull, A. (2008). Posttraumatic stress disorder and criminal responsibility. *Journal of Forensic Psychiatry & Psychology*, 19, 64–85.
- Frueh, B.C., et al. (2005). Documented combat exposure of US veterans seeking treatment for combat-related post-traumatic stress disorder. *British Journal of Psychiatry*, 186, 467–72.
- Frueh, B.C., Grubaugh, A.L., Yeager, D.E., and Magruder, K.M. (2009). Delayed onset posttraumatic stress disorder among war veterans in primary care clinics. *British Journal of Psychiatry*, 194, 515–20.
- Fujiwara, T., Okuyama, M., Kasahara, M., and Nakamura, A. (2008). Characteristics of hospital-based Munchausen Syndrome by Proxy in Japan. *Child Abuse & Neglect*, 32, 503–9.
- Gault, W.B. (1971). Some remarks on slaughter. *American Journal of Psychiatry*, 128, 450–54.
- Geraerts, E. et al. (2007). Traumatic memories of war veterans: Not so special after all. *Consciousness and Cognition*, 16, 170–77.
- Gray, N.S., et al. (2003). Post-traumatic stress disorder caused in mentally disordered offenders by the committing of a serious violent or sexual offence. *Journal of Forensic Psychiatry & Psychology*, 14, 27–43.
- Grossman, D. (1995). *On Killing: The Psychological Cost of Learning to Kill in War and Society*. Boston, MA: Little, Brown & Co.
- Haley, S.A. (1974). When the patient reports atrocities: Specific treatment considerations of the Vietnam veteran. *Archives of General Psychiatry*, 30, 191–96.
- Harding, C.M., Zubin, J., and Strauss, J.S. (1987). Chronicity in schizophrenia: Fact, partial fact, or fiction? *Hospital and Community Psychiatry*, 38, 477–86.
- Harding, C.M., et al. (1987). The Vermont longitudinal study of persons with severe mental illness I: Methodology, study sample, and overall status 32 years later. *American Journal of Psychiatry*, 144, 718–26.
- Harrington R. (2003). On the tracks of trauma: Railway spine reconsidered. *Social History of Medicine*, 16, 209–223.
- Harrison, P.J. (1999). The neuropathology of schizophrenia: A critical review of the data and their interpretation. *Brain*, 122, 593–624.
- Harry, B., and Resnick, P.J. (1986). Posttraumatic stress disorder in murderers. *Journal of Forensic Sciences*, 31, 609–13.
- Heide, F.J., and Borkovec, T.D. (1984). Relaxation-induced anxiety: Mechanisms and theoretical implications. *Behaviour Research and Therapy*, 22, 1–12.
- Hendin, H., and Haas, A.P. (1984). *Wounds of War: The Psychological Aftermath of Combat in Vietnam*. New York: Basic Books.
- Herman, J. (1997). *Trauma and Recovery*. 2nd ed. New York: Basic Books.

- Holmes, T.H., and Rahe, R.H. (1967). The social readjustment rating scale. *Journal of Psychosomatic Research*, 11, 213–18.
- Hooley, J.M. (2007). Expressed emotion and relapse of psychopathology. *Annual Review of Clinical Psychology*, 3, 329–52.
- James, W. (1988). *William James: Writings 1902-1910*. New York: Library of America.
- Jones, E., et al. (2003). Flashbacks and post-traumatic stress disorder: The genesis of a 20th century diagnosis. *British Journal of Psychiatry*, 182, 158–63.
- Kelman, H. (1963). Oriental psychological processes and creativity. *American Journal of Psychoanalysis*, 23, 67–84.
- Koenen, K.C., Stellman, S.D., Sommer, Jr., J.F., and Stellman, J.M. (2008). Persisting post-traumatic stress disorder symptoms and their relationship to functioning in Vietnam veterans: A 14-year follow-up. *Journal of Traumatic Stress*, 21, 49–57.
- Kloner, R.A. (2004). Editorial: The “Merry Christmas coronary” and “Happy New Year heart attack” phenomenon. *Circulation*, 110, 3744–45.
- Kruppa, I., Hickey, N., and Hubbard, C. (1995). The prevalence of post traumatic stress disorder in a special hospital population of legal psychopaths. *Psychology, Crime & Law*, 2, 131–41.
- Laufer, R.S. (1985). War trauma and human development: The Viet Nam experience. In S.M. Sonnenberg, A.S. Blank & J.A. Talbott (eds.), *The Trauma of War: Stress and Recovery in Viet Nam Veterans* (pp. 31–55). Washington, D.C.: American Psychiatric Press.
- Laufer, R.S., Gallops, M.S., and Frey-Wouters, E. (1984). War stress and trauma: The Vietnam experience. *Journal of Health and Social Behaviour*, 25, 65–85.
- Laufer, R.S., Brett, E., and Gallops, M.S. (1985). Symptom patterns associated with post-traumatic stress disorder among Vietnam veterans exposed to war trauma. *American Journal of Psychiatry*, 142, 1304–11.
- Leete, E. (1987). The treatment of schizophrenia: A patient's perspective. *Hospital and Community Psychiatry*, 38, 486–91.
- Lifton, R.J. (1973). *Home From the War: Vietnam Veterans—Neither Victims nor Executioners*. New York: Simon & Schuster.
- Lifton, R.J. (1978). Advocacy and corruption in the healing profession. In C.R. Figley (ed.), *Stress Disorders Among Vietnam Veterans: Theory, Research and Treatment* (pp. 209–30). New York: Brunner/Mazel.
- Lifton, R.J. (2004a). Conditions of atrocity. *The Nation*, May 31, pp. 4–5.
- Lifton, R.J. (2004b). Doctors and torture. *New England Journal of Medicine*, 351, 415–16.
- Lifton, R.J., and Mitchell, G. (1995). *Hiroshima in America: Fifty Years of Denial*. New York: Grosset/Putnam.
- Loftus, E.F., and Davis, D. (2006). Recovered memories. *Annual Review of Clinical Psychology*, 2, 469–98.
- Lunt, P. (2009). *Stanley Milgram: Understanding Obedience and its Implications*. Basingstoke, Hampshire: Palgrave Macmillan.
- MacNair, R.M. (2002a). Perpetration-induced traumatic stress in combat veterans. *Peace & Conflict: Journal of Peace Psychology*, 8, 63–72.

加害者と被害者の“トラウマ”

- MacNair, R.M. (2002b). *Perpetration-Induced Traumatic Stress: The Psychological Consequences of Killing*. Santa Barbara, CA: Praeger/Greenwood Publishers.
- MacNair, R.M. (n.d.). *PITS—What is it?* Retrieved June 18, 2009, from Pits Web site: <http://www.rachelmacnair.com/pits.html>.
- McGlashan, T.H. (1988). A selective review of recent North American longterm followup studies of schizophrenia. *Schizophrenia Bulletin*, 14, 515–42.
- McNally, R.J. (2005). Debunking myths about trauma and memory. *Canadian Journal of Psychiatry*, 50, 817–22.
- Marr, H.C. (1919). *Psychoses of the War Including Neurasthenia and Shell Shock*. London: Oxford University Press.
- Martin, A.R. (1951). The fear of relaxation and leisure. *American Journal of Psychoanalysis*, 11, 42–50.
- Mason, J.W. (1971). A re-evaluation of the concept of ‘non-specificity’ in stress theory. *Journal of Psychiatric Research*, 8, 323–33.
- Milgram, S. (1963). Behavioral study of obedience. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 67, 371–78.
- Milgram, S. (1974). *Obedience to Authority: An Experimental View*. New York: Harper & Row.
- Muramatsu, T., Lifton, R.J., and Doi, T. (1954). Letter from Japan. *American Journal of Psychiatry*, 110, 641–43.
- Nansen, O. (trans. by K. John). (1949). *From Day to Day*. New York: G.P. Putnam’s Sons.
- Nedopil, N. (1997). Violence of psychotic patients: How much responsibility can be attributed? *International Journal of Law and Psychiatry*, 20, 243–47.
- Noblitt, J.R. and Perskin, P.S. (1995). *Cult and Ritual Abuse: Its History, Anthropology, and Recent Discovery in Contemporary America*. Westport, CT: Praeger Publishers.
- North, C.S., Suris, A.M., Davis, M., and Smith, R.P. (2009). Toward validation of the diagnosis of posttraumatic stress disorder. *American Journal of Psychiatry*, 166, 34–41.
- Papanastassiou, M., Waldron, G., Boyle, J., and Chesterman, L.P. (2004). Post-traumatic stress disorder in mentally ill perpetrators of homicide. *Journal of Forensic Psychiatry & Psychology*, 15, 66–75.
- Penk, W.E., et al. (1989). Ethnicity: Post-traumatic stress disorder (PTSD) differences among black, white, and hispanic veterans who differ in degrees of exposure to combat in Vietnam. *Journal of Clinical Psychology*, 45, 729–35.
- Pezdek, K., and Banks, W.P. (eds.). (1996). *The Recovered Memory/False Memory Debate*. San Diego, CA: Academic Press.
- Phillips, D.P., Jarvinen, J.R., Abramson, I.S., and Phillips, R.R. (2004). Cardiac mortality is higher around Christmas and New Year’s than at any other time: The holidays as a risk factor for death. *Circulation*, 110, 3781–88.
- Pollock, P.H. (1999). When the killer suffers: Post-traumatic stress reactions following homicide. *Legal and Criminological Psychology*, 4, 185–202.
- Prigerson, H.G., et al. (2002). Population attributable fractions of psychiatric disorders and behavioral outcomes associated with combat exposure among US men. *American Journal of Public Health*, 92, 59–63.

- Richardson, L.K., Frueh, B.C., and Acierno, R. (2010). Prevalence estimates of combat-related PTSD: A critical review. *Australian and New Zealand Journal of Psychiatry*, 44, 4–19.
- Rifkin, A., and Quitkin, F. (1978). What's new in the psychopharmacology of schizophrenia. *Bulletin of the New York Academy of Medicine*, 54, 869–78.
- Rogers, P, Gray, N.S., Williams, T., and Kitchiner, N. (2000). Behavioral treatment of PTSD in a perpetrator of manslaughter: A single case study. *Journal of Traumatic Stress*, 13, 511–19.
- Rosen, G.M., and Taylor, S. (2007). Pseudo-PTSD. *Journal of Anxiety Disorders*, 21, 201–10.
- Rosen, G.M., and Lilienfeld, S.O. (2008). Posttraumatic stress disorder: An empirical evaluation of core assumptions. *Clinical Psychology Review*, 28, 837–68.
- Rosen, G.M., Spitzer, R.L., and McHugh, P.R. (2008). Editorial: Problems with the post-traumatic stress disorder diagnosis and its future in DSM-V. *British Journal of Psychiatry*, 192, 3–4.
- Rosenberg, D.A. (1987). Web of deceit: A literature review of Munchausen syndrome by proxy. *Child Abuse and Neglect*, 11, 547–63.
- Ross, C.A. (1995). *Satanic Ritual Abuse: Principles of Treatment*. Toronto: University of Toronto Press.
- Ross, C.A. (1997). *Dissociative Identity Disorder: Diagnosis, Clinical Features, and Treatment of Multiple Personality*. New York: John Wiley & Sons.
- Russel, N.J.C. (2011). Milgram's obedience to authority experiments: Origins and early evolution. *British Journal of Social Psychology*, 50, 140–162.
- Russel, B. (1935). *In Praise of Idleness, and Other Essays*. New York: W. W. Norton & Company.
- Rynearson, E.K. (1984). Bereavement after homicide: A descriptive study. *American Journal of Psychiatry*, 141, 1452–54.
- Schmale, A.H. (1958). Relationship of separation and depression to disease. I. A report on a hospitalized medical population. *Psychosomatic Medicine*, 20, 259–77.
- Scott, W.J. (1990). PTSD in DSM-III: A case in the politics of diagnosis and disease. *Social Problems*, 37, 294–310.
- Selye, H. (1936). A syndrome produced by diverse noxious agents. *Nature*, 138, 32.
- Shatan, C. (1985). Johnny, we don't want to know you: From DEROS and death camps to the diagnostic battlefield. Paper presented at the founding meeting of the Society for Traumatic Stress Studies, Atlanta, GA, Sept. 23.
- Shaw, D.M., Churchill, C.M., Noyes, R., and Loeffelholz, P.L. (1987). Criminal behavior and PTSD in Vietnam veterans. *Comprehensive Psychiatry*, 28, 403–11.
- Shengold, L. (2007). The dreaded promise of Christmas and the New Year. *Psychoanalytic Quarterly*, 86, 1351–60.
- Sheridan, M.S. (2003). The deceit continues: An updated literature review of Munchausen syndrome by proxy. *Child Abuse & Neglect*, 27, 431–51.
- Singer, M. (2004). Shame, guilt, self-hatred and remorse in the psychotherapy of Vietnam combat veterans who committed atrocities. *American Journal of Psychotherapy*, 58, 377–85.
- Sparr, L., and Pankratz, L.D. (1983). Factitious posttraumatic stress disorder. *American Journal of Psychiatry*, 140, 1016–19.
- Spitzer, C., et al. (2001). Post-traumatic stress disorder in forensic inpatients. *Journal of Forensic Psychiatry & Psychology*, 12, 63–77.
- Spitzer, R.L., First, M.B., and Wakefield, J.C. (2007). Saving PTSD from itself in DSM-V. *Journal*

加害者と被害者の“トラウマ”

- of *Anxiety Disorders*, 21, 233–241
- Steiner, H., Garcia, I.G., and Matthews, A. (1997). Posttraumatic stress disorder in incarcerated juvenile delinquents. *Journal of the American Academy of Child & Adolescent Psychiatry*, 36, 357–65.
- Stevenson, I. (1950). Physical symptoms during pleasurable emotional states. *Psychosomatic Medicine*, 12, 98–102.
- Stevenson, I. (1970). Physical symptoms occurring with pleasurable emotional states. *American Journal of Psychiatry*, 127, 175–79.
- Stevenson, I. (1989). *Some of My Journeys in Medicine*. The Flora Levy Lecture in the Humanities, delivered at the University of Southwestern Louisiana, Lafayette, LA.
- Stevenson, I. (1994). A case of the psychotherapist's fallacy: Hypnotic regression to “previous lives.” *American Journal of Clinical Hypnosis*, 36, 188–93.
- Stimson, H. (1945). Stimson Diary. June 6 and July 24, 1945. Retrieved April 1, 2011, from Hiroshima: Was it necessary? Web site: <http://www.doug-long.com/>
- Thomas, C., Adshead, G., and Mezey, G. (1994). Case report: Traumatic responses to child murder. *Journal of Forensic Psychiatry & Psychology*, 5, 168–76.
- Thompson, C.L. (1998). *The Suffering of the Killer: Post-Traumatic Stress Reactions Following Murder*. A paper submitted to Prof. David V. Canter, Investigative Psychology, University of Surrey, Guilford, Surrey, United Kingdom.
- Ullman, S.E. (2007). Relationship to perpetrator, disclosure, social reactions, and PTSD symptoms in child sexual abuse survivors. *Journal of Child Sexual Abuse*, 16, 19–36.
- United States Strategic Bombing Survey (1946). *The Effect of Atomic Bombs on Hiroshima and Nagasaki*. Chairman's Office, The United States Strategic Bombing Survey.
- United States Strategic Bombing Survey (1947). *Summary Report (Pacific War)*. Washington, DC.
- Wessely, S. (2005). War stories: Invited commentary on...Documented combat exposure of US veterans seeking treatment for combat-related post-traumatic stress disorder. *British Journal of Psychiatry*, 186, 473–75.
- Williams, L.M. (1994). Recall of childhood trauma: A prospective study of women's memories of child sexual abuse. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, 62, 1167–76.
- Wilson, J.P., and Green, B.L. (1991). Obituary—Robert S. Laufer: 1942–1989. *Journal of Traumatic Stress*, 14, 155–57.
- Wolf, S.G. (1950). Correlation of conscious and unconscious conflicts with changes in gastric function and structure. In H.G. Wolff, S.G. Wolf & C.C. Hare (eds.), *Life Stress and Bodily Disease* (pp. 665–76). Baltimore, MD: Williams & Wilkins.
- Wolff, H.G. (1950). Life stress and bodily disease—A formulation. In H.G. Wolff, S.G. Wolf & C.C. Hare (eds.), *Life Stress and Bodily Disease* (pp. 1059–94). Baltimore, MD: Williams & Wilkins.
- Wolff, H.G. (1953). *Stress and Disease*. Springfield, IL: Charles C. Thomas.
- Young, A. (1995). *The Harmony of Illusions: Inventing Post-Traumatic Stress Disorder*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Zimbardo, P.G. (2004). A situationalist perspective on the psychology of evil: Understanding how good people are transformed into perpetrators. In A. Miller (ed.), *The Social Psychology of Good and Evil* (pp. 21–50). New York: Guilford.